

知らず知らずにやっている日本語の誤用

険太くん準主役をやることに！

ある日の昼下がり、険太くんの足は今日も近所の空き地に向かいます。近在のネコを集めた井戸端会議で議長を務めるネコっちに会うためです。

「やあ、ネコっち。この前、学校で恥ずかしい思いをしちゃったよ」

「何があったの？ 険太くん」

「みんなの前で言い間違いをしちゃったんだ。クラスの発表会で劇をやることになってその配役を決める時間があったんだよ。ボクはすごく重要な役に推薦されたんだ」

「険太くん、すごいね！！」

「ボクは自信なかったからさ、辞退しようと思って『役不足ですから』って言ったんだ。そしたら、『役不足だってー』って女子たちがはやしたてるんだ。その時はとっても焦ったよ」

「そんな風に勘違いして覚えている言葉もあるよね。今日は間違っって使われやすい言葉をみてみよう！」



険太くん

文化庁の調査によると、「力不足」の意味で「役不足」を使っていた人は過半数を占めたそうだな。



ネコっち♪

ネコっちのお話⇒『役不足、確信犯も誤用が多いんだニャ』

まず、険太くんが言いたかったのは「力不足」だよね。役不足は「力量に比べて、役目が不相応に軽いこと」だから、険太くんの言い方だと「そんな端役やられるか」ということになって、まったく逆の意味になってしまうニャ。あとネコっちが気になるのは、「確信犯」だよ。よく「悪いとわかっているのに起こした犯罪または犯人」みたいな言い方をされるよね。でも本来の意味は、「道徳的、宗教的あるいは政治的な確信に基づいてなされる犯罪」だから、それが社会的に悪いとされていても「本人は正しいことと確信している」ことなんだ。疑問に思ったら自分で調べてみるのが大事だよ。保険には専門用語が多いから、わかったつもりにならないで、きちんと質問して疑問を解決してほしいんだニャ。

★保険に関する疑問は、些細と思われ
ることでもご遠慮なく
お電話ください。

株式会社 みらいふ

住所：京都市右京区西京極午塚町30

TEL：075-863-0808 FAX：075-863-0809

Mail：news@k-milife.co.jp

